

教えて!

富山 けいざい



カーボンニュートラルって?

◆CO₂排出実質ゼロ/国内325自治体が表明

Q-カーボンニュートラルって何のこと。

A-英語で「炭素中立」という意味で、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量と、吸収される温室効果ガスの量が同じ(=中立)状態を指します。人間の活動で削減できない二酸化炭素(CO₂)の排出量を、森林の保護などによって吸収・削減する量と相殺し、実質的にゼロとする考え方です。



脱炭素を目指し東京ガスなど15企業などで設立した団体の会見=9日、東京都

Q-具体的にはどんな取り組みがあるの。

A-森林の間伐材や家畜の排せつ物、食品廃棄物といった生物資源を有効活用するバイオマス発電があります。これまで廃棄していたものを再利用することは廃棄物の減少にもつながり、循環型社会の構築にも貢献します。ほかにも太陽光発電や風力発電(洋上含む)といった再生可能エネルギー、水素やアンモニアを利用しCO₂を出さない発電、排出されたCO₂を回収して貯留する技術などが挙げられます。

Q-注目されるのはなぜ。

A-昨年10月、菅義偉首相が所信表明演説で「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と宣言し、国内外から注目を集めました。現在、120を超える国と地域が「2050年カーボンニュートラル」に賛同しており、3月17日時点で国内で325の自治体が「二酸化炭素排出実質ゼロ(ゼロカーボンシティ)」を表明しています。企業でも取り組みが進んでいます。

Q-県内の状況は。

A-県は昨年3月、民間団体と共同で「とやまゼロカーボン推進宣言」を発表しました。「新とやま温暖化ストップ計画」に基づき、再生可能エネルギーの推進、里山林整備など、温室効果ガスの排出量削減や吸収源対策などに取り組んでいます。このほか富山市や魚津市、南砺市、立山町がゼロカーボンシティを表明し、脱炭素社会の実現を目指しています。

(北陸経済研究所の吉田聡子が解説しました。)